

「医療制度改革～明日そしてあさっての医療を展望する～」、「医療情報の非対称性～真に患者が欲しい情報とは～」、「DPC時代の医療マネジメント」、「医療安全ラウンド」、「地域におけるクリティカルパスの活用効果と展望」と題した5つのシンポジウムに加え、特集「クリティカルパスの最前線」では、いずれも今第一線でご活躍の方々に座長およびシンポジストをお務め頂きました。6つの企画を通じて、奇しくも得られた共通の結論は「これからの日本の医療を考える上では、是非、国民に、就中、患者や患者の家族だけでなく一般の元気な人々にも、広く日本の医療について知ってもらわなければならない」ということであったように思われます。誠に今回の主題に合致した結論であり、主催者としても大いに意を強くした次第です。

ランチョンセミナーは15本用意できました。クリティカルパスに留まらず感染対策、リスクマネジメント、病院経営、DPC、医療評価、医療材料、病院建築、モチベーション向上など、昨今で最もホットな分野の話題を網羅したつもりです。協賛頂いた各企業に心から感謝を申し上げます。どの会場も満員で、まさに会員の向上心の発露を見た思いです。主催者の行き届きで立ち見を余儀なくされた方々には改めてご寛容をお願いしたいと思います。

この他、今学術総会の新機軸として主催者企画(関東病院紹介)、カルテレビュー演習、フリートークセッション2題を開催させて頂きました。特にフリートークセッションでは「医療連携室」と「7:1看護基準」という主題のタイムリーさに加えて、座長の下村裕見子氏、坂本すが氏の好司会もあって、会場は立錫の余地もない超満員となりました。いざとなると遠慮をされて発言がでないのではという主催者の事前の不安は全くの杞憂でした。今後、このような形の発表・意見交換も学会における一つの形になるのかも知れません。会場がいかにも手狭であったことについては、重ねて、主催者の不明をお詫び致します。

今学術総会では、会員の便利を考えて、ハンズアウトサービスをとりいれてみました。おそらく我が国の学術総会では初めての試みと思われれます。スライド原稿を事前に登録して頂く必要があったため、準備をお急かせすることとなりましたが、最終的に、一般口演126題、ポスター45題をはじめ、教育講演、会長講演、ランチョンセミナーなど計179題のご協力を得ました。プリントアウトコーナーは連日人にあふれ、印刷に使用された紙は計20,000枚を数えましたが、極めて整然とご利用頂けており、最初としては大成功であったと思われれます。今後はクリティカルパス展示などにもこの方法が利用されるとよいかも知れません。

2年前に会長に指名されて以来、NTT東日本関東病院のスタッフと共に準備を進めてきましたが、振り返ってみればあつという間でありました。支えてくれたスタッフ一人一人を心から誇りに思います。当日の運営に関わって頂いた全員に感謝するとともに、この2年間、ご指導、ご後援、ご協賛頂いた諸方面の各位にあらためて御礼を申し上げる次第です。行き届きが多々あった点については会員各位のご理解を賜りたく存じます。

学術総会は第9回を終えました。今までは内輪に向けた会でした。今後は、より多く(出来れば日本中)の種類の病院の院長、副院長、看護部長にも参加を呼びかけ、外に向かって意見・情報を発信することのできる学会に育っていく必要があるように思われます。日本医療マネジメント学会の益々の発展を祈念して、第9回日本医療マネジメント学会学術総会開催報告とさせていただきます。

### 日本医療マネジメント学会学術総会会長賞を受賞して 香川労災病院脳神経外科部長 藤本俊一郎

第9回日本医療マネジメント学会学術総会において、第8回学術総会(2006年6月16-17日 パシフィコ横浜)で発表し、日本医療マネジメント学会雑誌 7(3):415-421、2006に寄稿した「シームレスケア研究会の設立と地域連携クリティカルパスの作成」(藤本俊一郎、多田羅喜代美、大原昌樹)に対し、会長 高橋俊毅先生(国立病院機構横浜医療センター院長)から学術総会会長賞をいただく栄誉に浴しました。香川県の中讃・西讃地域において2005年11月にシームレスケア研究会を設立し、「脳卒中」「大腿骨頸部骨折」「嚥下障害・NST」の地域連携クリティカルパスを作成した報告です。14施設、39名で設立し、現在延べ51施設、276名に参加人数、施設が増加し、現在は「在宅」を視野に入れた連携を模索しています。3種類の地域連携クリティカルパスが作成された時点で単行本とCDを作成することでデータベースを共有し、リハステップ・日常生活動作・嚥下障害・NSTを中心とした情報提供ができるようにしました。現在なおいくつかの課題がありますが、会員の満足度も高く、円滑に運用されています。

日本医療マネジメント学会および学会員皆様からの多くに情報をいただいたおかげでここまで来たと感じています。今後も地域および日本医療マネジメント学会に貢献していきたいと考えていますので、これからもご指導の程お願い申し上げます。



学術総会会長賞表彰式



日本医療マネジメント学会ホームページ案内

<http://jhm.umin.jp/index.html>

最新情報満載

※学術総会のホームページとは  
異なりますのでご注意ください。